



「大正生まれ、
和ガラスの華。」



令和7年度企画展 野田市郷土博物館 市民コレクション展

アンティークガラスの采^{いろど}り

— Tosaka Collection —

7.12Sat - 9.29Mon

野田市郷土博物館 1階展示室

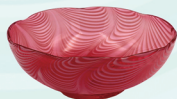
【入館料】無料

【休館日】火曜日（祝日は開館）【開館時間】9:00～17:00

千葉県野田市野田370-8

Tel: 04-7124-6851 Fax: 04-7124-6866

Mail: info@noda-muse.jp HP: <https://noda-muse.jp/>



—— 独特の「ゆがみ」、美しいアンティークガラス

■日本に初めて西洋式のガラス工場が誕生したのは明治6年。苦心の末、安定した品質、生産量が担保できるようになると、国内のガラス生産は明治末期から大正時代にかけて最盛期を迎えます。多くの工場から国内のみならず、海外輸出品の生産も行われました。しかしその後、機械式の大量生産に変わり、また戦時下の物資不足の余波を受け、吹きガラス製法によるガラス製品は姿を消し、今では工芸品の一部を残すのみとなりました。今回の展示コレクター、登坂宣好氏は、多くの国産ガラスや、ヴェネチアンガラスなどの海外製のアンティークガラスを所蔵しています。時代を彩った貴重なガラスコレクションを初公開。夏にぴったりの涼しげで美しく、またカラフルで可愛らしい器の数々、この機会にお見逃しなく。ライトアップ展示なども実施します。



とさかのぶよし
【本展の出展者 登坂宣好さん】

野田市在住。はじめて昔ガラスに魅せられ、手に入れたのは50年も前。現在も多数のコレクションを飾りながら、日常の暮らしを彩るアンティークガラスを楽しんでいる。

【出展者・登坂宣好氏よりコメント】

様々な技法と彩色とによって産み出された多様な“もの”達を通し、当時のみならず現代の暮らしを彩る昔ガラス（和の大正ガラスと洋のヴァセリンガラス）の魅力をお楽しみください。

特に、当時の職人さんの手業による大正コンボートのデザインに注目して下さい。



◆企画展関連イベント

①「コレクターによるギャラリートーク」

日時：第1回：7月19日(土) 13時30分～14時

第2回：9月13日(土) 13時30分～14時

講師：登坂宣好氏(コレクション展出展者)

場所：野田市郷土博物館1階展示室

参加費：無料

内容：コレクション品の展示出展者に、見どころ、思い出などをギャラリートーク形式で語って頂きます。

※申し込み不要、入退室自由。当日会場へお越しください。

②「大正時代のかき氷を食べながら昔の水とガラスを学んでみよう」(小学生以上対象)

日時：第1回：8月3日(日) 13時30分～14時

第2回：8月31日(日) 13時30分～14時

講師：当館学芸員

場所：市民会館 松・竹・梅の間

参加費：無料

申込方法：各回先着20名。7月20日(日)9時より受付開始。博物館に電話、FAXにて申込。(メール不可)

内容：大正時代にもあったかき氷のメニューを味わってしながら、明治、大正時代の製氷方法やガラスの歴史などをお話します。

【お問合せ】

会場 野田市郷土博物館 1階展示室

入館料 無料

休館日 火曜日(祝日は開館)

開館時間 9時～17時

主催 野田市郷土博物館・市民会館
〒278-0037 野田野田370-8

電話 04-7124-6851

Fax 04-7124-6866

Mail info@noda-muse.jp

HP https://noda-muse.jp/

【アクセス】

◆電車

東武野田線(東武アーバンパークライン)
『野田市駅』または『愛宕駅』下車徒歩8分

◆車

常磐線自動車道『柏IC』から約20分
※駐車場あり(30台、無料。ただし近隣施設と併用。バスは駐車できません)

◆まめバス

清水ルート、堤台ルート、中ルート、愛宕ルート、いずれも『上町』下車徒歩7分
愛宕ルート、南循環ルート、いずれも『仲町』下車徒歩5分

